

大平勇議長様

第23回議員の学校研修会報告

2015年10月23日

報告者 松阪市議会議員 今井一久

1, 日時 2015年10月17日～18日

2, 場所 たましんRISURUホール

3, 資料別紙添付

4, (1) 講義1 「地方創生と」公共施設計画をつなぐもの

その鍵は、「自治体総合計画」にあり

講師 大和田 一紘 多摩



住民自治研究所理事

所感

本当の地方再生とは何か、公共施設計画の盲点を学んだ。

特に、地方財政の変遷、地方交付

税のあり方と借金問題。住民の協力など富山県氷見市や群馬県川場村の実践を学んだ

(2) 講義2 地方経済分析システム (RESAS) とは何か。

「人口ビジョン」と「地方版『総合戦略』」にどうかすのか

講師 長島剛氏 多摩信用金庫 価値創造事業部長

中西英一郎 多摩信用金庫 地域経済研究所



所感

政府は、地方自治体が『地方版総合戦略』を策定する際の『情報支援ツール』として、2015年4月21日から『地域経済分析システム』

RESASも供用を開始した。ビック

データを活用し、産業・観光・人口・自治体比較の各マップから地域を分析して地域産業政策や地域活性化政策立案に生かすものです。有効なものとして多摩信用金庫のみなさんから教えていただきました。

(3) 講義3

地域循環型経済と地域作り

講師 八幡一秀 中央大学教授

所感

一昨年の経済センサスでは、中小企業所数は、543万。そのうち460万は、従業員20に二課の小規模事業です。地域に雇用を作り、地域経済に貢献する小規模企業に対して『小規模企



業振興基本法』が制定され、支援がはじまっています。中小企業、中小業者を核とした地域循環型経済と地域作りを EU の状況や全国各地の取り組みから学んだ。

(4) 講義4 地方自治体の政策を作る

講師 池上洋通 議員学校校長、主任研究員



所感

住民生活の現実とそこから生まれる願いに
応え、地域社会の課題を解決する道を
具体的にすることが、地方自治体の政策の
目的です。住民の年齢構成の変化灘

に正面から向き合い、議会と行政が、住民とともに歩む政策活動をどのように
に生み出していくのかを学び合いました。